

令和 2 年 7 月 15 日現在

機関番号：44324

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K13792

研究課題名（和文）事業承継問題が中小企業の海外進出の意思決定に与える影響について

研究課題名（英文）Succession Expectations of Family CEOs and Investment Time Horizons

研究代表者

井口 衡（Iguchi, Hakaru）

京都経済短期大学・経営情報学科・講師

研究者番号：60633906

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,200,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、サーベイ調査から得られた東京23区内に立地する410社の中小同族製造業企業のデータを用いて、同族企業経営者の事業承継における不確実性が大きくなるほど、海外進出などの長期的投資を行う確率が低くなることが確認された。さらに、同族企業経営者が同じ水準の事業承継の不確実性に直面している場合でも、子供以外の人物が後継者となることをより期待している場合の方が、子供が後継者となることを期待している場合よりも、より長期的な投資を行う確率が高まることが確認された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究では、同族企業経営者の子供以外の人物が事業承継をしてくれるだろうという期待は、子供に対する期待よりも、より長期的投資を促進することが明らかになった。これは、経営者の子供によって事業承継が行われた後に生じる業績の低下は、先代の経営者の長期的投資の少なさに起因している可能性を示唆するものとなっている。

また、本研究の分析結果は、後継候補者マッチングサービスや事業承継に関わる減税施策などといった中小企業における事業承継支援策によって、事業承継における不確実性を減らすことで、同族中小企業による長期的投資を促進することができる可能性を示唆している。

研究成果の概要（英文）：How do family firm CEOs' expectations of their firms' succession influence investment time horizon? By extending the socioemotional wealth perspective from the myopic loss aversion framework, we propose that family CEOs who confidently expect that their successors will be found are more likely to engage in long-term investment. Additionally, the likelihood of long-term investment is more positively associated with CEOs' expectations of managerial succession by non-children than by their own children. We examine a sample of 410 small and medium-sized family manufacturers in Tokyo, Japan, and find a strong statistical support for the hypothesized relationships. These two findings shed light on a novel aspect of the accumulation and retention of socioemotional wealth based on the relationship between family firms' managerial succession and investment time horizon.

研究分野：経営学

キーワード：同族企業 中小企業 事業承継 長期的投資

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

中小企業は、雇用機会の創出や地域経済の活性化といった面で一国の経済を支える重要な機能を持つ。そのため、中小企業を対象とした研究は数多く行われてきた。なかでも、実証的な関心が向けられているのは、中小企業が成長するための重要な手段の一つである海外進出に関する意思決定である。2000年代以降、大企業を対象とした海外進出に関する研究の枠組みを中小企業に応用する研究が現れてきた。それらの研究では、従来の大企業の海外進出の意思決定を説明する要因だけでなく、中小企業に特有の要因を取り入れた分析の必要性が指摘されている。

本研究は、従来指摘されてきた海外進出の意志決定に影響を与える諸要因に加え、中小企業特有の要因として、事業承継問題という新しい視点を分析に取り入れる。既存研究で所与とされている中小企業経営者が有する「企業の継続性に対する欲求」は、後継者の有無により変化することが予測される。そのため、後継者の有無は、海外進出のような企業の継続性を増減させる企業行動の選択にも影響を与える可能性がある。例えば、後継者がいない場合であれば、長期的な事業展開は難しいため、より短期間での投資の回収を企図し、困難の伴う新たな国への大規模な海外進出を控えるかもしれない。

これまで、中小企業における事業承継問題と企業行動の関係について焦点を当てている研究は存在する。しかし、これらの研究では、経営者の世代交代によって企業パフォーマンスがどのように変化するのかという視点から分析が行われてきた。そのため、世代交代が行われる前の現在の経営者の意思決定に対して、事業承継問題が与える影響については検討されてこなかった。

2. 研究の目的

本研究では、従来の研究とは異なり、後継ぎに関連する要因が現在の経営者の意思決定に与える影響を明らかにする。具体的には、現職の経営者が抱える、今後どの程度の確率で自らの後継者が現れるかという認識(以下、後継者に関する主観的確率)が、海外進出の意思決定に与える影響について明らかにする。

また、このような後継者に関する主観的確率は、従来、海外進出の説明変数として用いられてきた諸要因の効果の方向や強さに影響を与える可能性が考えられる。本研究では、中小企業の海外進出の意思決定に影響を与える代表的な要因としてリスクに関わる要因を取り上げ、その効果に対して後継者に関する主観的確率が与える影響にも注目して分析を行う。

3. 研究の方法

本研究は2016年11月と2018年1月に実施した質問票調査から得られたデータを用いる。調査対象企業は、東京23区内に立地する従業員数300人以下もしくは資本金3億円以下の製造中小企業15,111社である。それぞれの企業名と立地場所については東京商工リサーチのデータを用いて特定した。まず、2016年11月に、企業の属性、経営者の属性、そして事業承継の不確実性についての質問に対して経営者から直接の回答を求める一次調査を上述の15,111社を対象として行った。そして2018年1月には、本研究の被説明変数である長期的投資に関する調査票を一次調査の回答企業1,499社に対して送付した。二次調査は、一連の説明変数を収集した一次調査から一年以上経過して実施されているため、逆の因果が存在する可能性は排除されている。両調査は、紙媒体でもweb上でも回答できるように設計されている。回答を促す葉書は、それぞれの調査票を配布してから2週間後に送付し、1カ月以内の回答を求めた。

二次調査には732社(48.8%)から回答を得たが、以下の二つの条件に従って分析に使用する観測値を限定した。まず、推定結果がバイアスする可能性を排除するために、経営者自身が回答した企業のみを分析に用いている。中小企業を対象としているため、ほとんどの回答は経営者から得ることができている。次に、観測値を同族企業に限定している。同族企業の定義は、研究者の間でコンセンサスが得られているとはいえない(Kontinen & Ojala, 2010)。そのため、本研究では同族企業研究で最も広く用いられている創業家一族による株式所有割合に基づいた定義を採用した。具体的には、「創業家一族が50%以上の株式を所有している企業」(Astrachan & Kolenko, 1994)という定義を本研究では採用している。不完全な回答を取り除いた後の本研究の最終的なサンプルサイズは410である。

4. 研究成果

本研究では、同族企業における事業承継の不確実性が企業の長期的投資行動になぜ、そしてどのように影響を与えるかというリサーチクエスションの下で、東京23区内に立地する製造中小企業410社のデータを用いて二つの仮説を検証した。本研究の主な発見は以下の二つである。まず、後継者が現れると同族企業経営者が期待している場合、その企業は長期的投資により従事する傾向にあることが明らかになった。次に、同族企業経営者が自らの子供に事業承継を期待しているか、それともそれ以外の人物に対して事業承継を期待しているかによって、企業の長期的投資行動の傾向が異なることが明らかになった。具体的には、同族企業経営者の子供以外の人物が事業承継をしてくれるだろうという期待は、子供に対する期待よりも、より長期的投資を促進することが明らかになった。

本研究の分析結果には、理論的、分析的、実践的な貢献がある。まず、本研究の潜在的な後継者と現経営者との血縁関係によって長期的投資の傾向が異なるという知見は、同族企業におけ

る事業承継に関する近年の既存研究に対して重要な示唆を持つ。これまで、社会情緒的資産の枠組みは同族企業と非同族企業の違いを説明する枠組みとして用いられてきた。しかし、本研究の結果は、事業承継という文脈において、この理論的枠組みによって同族企業間の長期的投資行動の異質性についても説明することができることを示している点で理論的な貢献をもつ。

また、この知見は、事業承継と承継後の企業業績との関係を扱った既存研究に対しても貢献をもつ。いくつかの既存研究では、創業家一族による事業承継は、一族以外の人物による事業承継よりも、企業業績を悪化させることが報告されている(e.g., Chang & Shim, 2015; Cucculelli & Micucci, 2008; Hillier & McColgan, 2009; Minichilli et al., 2014)。この関係は先代の同族企業経営者の投資決定によって説明することができるかもしれない。本研究でも明らかになったように、同族企業経営者が子供による事業承継を期待している場合、彼らは子供以外の人物による事業承継を期待している場合よりも、長期的投資を行う確率が低い傾向にある。長期的投資は一般的に高い企業業績をもたらすため(Souder, Reilly, Bromiley, & Mitchell, 2016)、経営者の子供によって事業承継が行われた後に生じる業績の低下は、先代の経営者の長期的投資の少なさに起因しているかもしれない。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 井口 衡	4. 巻 53
2. 論文標題 経営者の主観的なキャリア見通しと環境関連投資	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 産業経営	6. 最初と最後の頁 89-101
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井口 衡	4. 巻 115
2. 論文標題 都内中小製造業企業における長期的投資行動および事業承継の動向	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 商経論集	6. 最初と最後の頁 19-30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井口 衡	4. 巻 53
2. 論文標題 同族企業における事業承継の不確実性と長期的投資行動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 組織科学	6. 最初と最後の頁 4-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 6件）

1. 発表者名 Iguchi, H., Yamanoi, J. and Katayama, H.
2. 発表標題 Family CEOs' Expectations of Managerial Succession and Investment Time Horizons
3. 学会等名 The Academy of International Business 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iguchi, H., Yamanoi, J. and Katayama, H.
2. 発表標題 CEOs' Religiosity and Corporate Environmental Proactivity
3. 学会等名 Academy of Management 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iguchi, H., Yamanoi, J. and Katayama, H.
2. 発表標題 Family CEOs' Expectations of Managerial Succession and Investment Time Horizons
3. 学会等名 Academy of Management 2018 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井口 衡
2. 発表標題 ファミリービジネスにおける事業承継の不確実性と長期的投資
3. 学会等名 組織学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hakaru Iguchi
2. 発表標題 Succession Expectations of Family CEOs and Investment Time Horizons
3. 学会等名 The Strategic Management Society 37th Annual International Conference (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hakaru Iguchi
2. 発表標題 CEOs' Religious Beliefs and Firms' Voluntary Behaviors for Sustainable Development
3. 学会等名 RIEEM Workshop on environmental management
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hakaru Iguchi
2. 発表標題 Family CEOs' Expectations of Managerial Succession and Investment Time Horizons
3. 学会等名 2018 Academy of Management Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Hakaru Iguchi
2. 発表標題 Family CEOs' Expectations of Managerial Succession and Investment Time Horizons
3. 学会等名 The Academy of International Business 2018 Annual Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----